

公益社団法人日本放射線腫瘍学会

小線源治療部会第23回学術大会

テーマ

わざの伝承を考える
—技術と技能の教えと学び—

プログラム・抄録集

WEB(Live)開催：

2021年 5月21日(金)～22日(土)

オンデマンド配信：

2021年 6月1日(火)～30日(水)



日時

当番
世話人

野本 由人 (三重大学大学院医学系研究科 先進がん治療学講座 教授)

URL

<https://www.2021jgb.jp>



小線源治療部会 第23回学術大会

[プログラム・抄録集]

会 期:

◆ Web (Live) 開催 2021年5月21日(金) ~ 22日(土)

◆ オンデマンド配信 2021年6月1日(火) 9:00 ~ 30日(水)17:00

当番世話人: **野本 由人** (三重大学大学院医学系研究科 先進がん治療学講座 教授)

ご 挨拶

日本放射線腫瘍学会小線源治療部会 第23回学術大会
当番世話人 野本 由人
(三重大学大学院医学系研究科 先進がん治療学講座 教授)



日本放射線腫瘍学会小線源治療部会第23回学術大会を開催するにあたって、ご挨拶を申し上げます。

放射線治療は、著しい技術革新により定位放射線照射、強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療などの高精度放射線治療が発展をとげてまいりました。以前は職人芸的な面もあった小線源治療も、高精度小線源治療の時代に移行し、画像誘導小線源治療（IGBT）による適正な線源配置が可能になり、線量分布やDVHを用いて職人芸ではなく客観的に適切な治療が行えるようになってきました。

こうした高精度小線源治療が普及するにつれ、複雑化した治療の品質保証、および安全性の担保のために、医師、技師、物理士、看護師などの小線源治療に携わるスタッフの知識のupdateがますます重要となってきました。また、小線源治療に不可欠なアプリケーションの挿入時や組織内照射の針の刺入時に生じる患者さんの苦痛を取り除くためには、鎮痛・鎮静の知識の習得が重要となってきています。

そこで今回は、「わざの伝承を考える -技術と技能の教えと学び-」を大会のテーマとさせて頂きました。高精度小線源治療の時代を迎え、治療のよしあしが客観的に評価できるようになったとはいえ、経験豊富な熟達者からコツを学ぶことは大切であり、従来から本学術大会の目的のひとつであると考えております。わざは伝承しなければ消えてしまいます。小線源治療が生き残るためにも「わざの伝承を考える」、つまり、技術と技能をいかに教え、学んでもらうのかを考えていかななくてはならないと思います。このようなテーマを念頭におきつつ、これまでの小線源治療の成果や今後の展望について熱く議論ができる場をご提供できればと思っております。

三重県は温暖な気候で海山の幸に恵まれ、豊かな自然の中に伊勢神宮があるなど大変魅力的な所で、是非皆様を現地でお迎えしたかったのですがコロナ禍によりウェブ開催とせざるを得ませんでした。直接お会いできないのは誠に残念ですが、参加しやすく視聴に集中できるなど、ウェブ開催ならではのメリットもあります。本学術大会が小線源治療をいっそう深く広く発展させる場になれば幸いです。多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

ご案内

会 期

【Web (Live)開催】 2021年5月21日(金) ～ 22日(土)

【オンデマンド配信】 2021年6月1日(火) 9:00 ～ 30日(水) 17:00

当番世話人：野本 由人

(三重大学大学院医学研究科先進がん治療学講座 教授)

※本学術大会はZoomウェビナーを使用してWeb (Live)開催を実施し、Liveを録画した動画をオンデマンド配信いたします。

学術プログラム概要

◆特別講演

『小線源治療こそ最大の高精度治療である』

5月21日(金) 13:40 ～ 14:40 第1会場

座長：野本 由人(三重大学大学院医学系研究科先進がん治療学講座)

演者：伊丹 純(国立がん研究センター中央病院 放射線治療科／新松戸中央総合病院放射線治療センター)

◆教育講演

『鎮静・鎮痛』

5月22日(土) 13:30 ～ 14:30 第1会場

座長：生島 仁史(徳島大学大学院医歯薬学研究部 放射線治療学分野)

IL-1. 「苦痛のない治療」を提供するための基礎知識

演者：田口奈津子(千葉大学大学院医学研究科麻酔学)

IL-2. 婦人科癌小線源治療における鎮静鎮痛

演者：辻野佳世子(兵庫県立がんセンター 放射線治療科)

◆シンポジウム1

『小線源治療技術の進化、深化、新価』

5月21日(金) 10:05 ～ 11:35 第1会場

座長：小島 徹(埼玉県立がんセンター 放射線治療科)

川村 慎二(帝京大学大学院保健学研究科 診療放射線科学専攻)

SY1-1. 気管支内小線源治療用新型アプリケーションの開発

演者：飯島康太郎(国立がん研究センター中央病院 放射線品質管理室)

SY1-2. IGBTを支える機器・技術の多様性と性質

演者：黒岡 将彦(東京医科大学病院 放射線治療品質管理室)

SY1-3. ⁶⁰Co線源の線源強度計測とトレーサビリティ確立への検討

演者：根本 幹央(自治医科大学附属病院 放射線治療部)

SY1-4. ヨウ素125シード線源の線源強度計測

演者：加茂前 健(名古屋大学医学部附属病院 放射線科)

◆シンポジウム2

『わざの伝承』

5月21日(金) 16:40～18:00 第1会場

座長：西村 哲夫(静岡県立静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター)

基調講演

小線源治療わざの伝承の条件；塚本憲甫による喉頭癌のラジウム線源埋没療法を例にして

演者：西村 哲夫(静岡県立静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター)

SY2-1. 頭頸部癌の低線量率小線源治療

演者：吉村 亮一(東京医科歯科大学 腫瘍放射線治療学分野)

SY2-2. 頭頸部癌の高線量率小線源治療

演者：秋山 広徳(大阪歯科大学 歯科放射線学講座)

SY2-3. 気管支腔内照射の適応と技術の伝承

演者：野本 由人(三重大学病院 放射線科)

◆シンポジウム3

『子宮頸がん組織内照射併用腔内照射（ハイブリッド）への教えと学び』

5月22日(土) 9:40～11:20 第1会場

座長：伊井 憲子(伊勢赤十字病院 放射線治療科)

加藤 真吾(埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)

SY3-1. ハイブリッド治療が広まらない理由

演者：野田 真永(埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)

SY3-2. ハイブリッド導入までの道のりとその後の課題 <学びの立場から>

演者：三浦 幸子(奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座)

SY3-3. ヨーロッパにおける画像誘導小線源治療の現状と教育システムについて

演者：村田 和俊(群馬大学大学院腫瘍放射線学／国立研究開発法人量子科学技術研究
開発機構QST病院)

SY3-4. Advanced Gynecological Applicator Venezia™の使用経験

演者：渡辺 未歩(千葉大学医学部附属病院 放射線科)

◆シンポジウム4

『前立腺癌の小線源治療 ～深めること、広げること～』

5月22日(土) 14:40～16:10 第1会場

座長：増井 浩二(京都第二赤十字病院 放射線治療科)

吉田 謙(関西医科大学総合医療センター)

SY4-1. 前立腺がんHDR当院での取り組み 臨床試験と人材育成

演者：稲葉 浩二(国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

SY4-2. 前立腺癌小線源治療 - 奈良医大におけるこれまでの取り組みと今後の展望 -

演者：田中 宣道(奈良県立医科大学 前立腺小線源治療講座)

SY4-3. PSMA-PETの最新動向と小線源治療における活用への期待

演者：平田 岳郎(大阪大学 放射線科)

SY4-4. ED診療の現状と治療法 - 前立腺癌に対する放射線治療後のEDを中心に -

演者：辻村 晃(順天堂大学医学部附属浦安病院 泌尿器科)

◆ワークショップ

『小線源治療の海外事情 ～海外ってどんな感じ？次世代へのエール～』

5月21日(金) 14:40～15:30 第1会場

座長：萬 篤憲(国立病院機構東京医療センター 放射線科)

WS-1. 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校に留学して

～日本のBrachyはアメリカに勝てるのか？～

演者：久能木裕明(順天堂大学 放射線治療学講座)

WS-2. 留学体験記 ちょっと隣の芝生覗いてみました

演者：増井 浩二(市立福知山市民病院)

◆一般演題

5月21日(金)

一般演題①. 婦人科腫瘍1 10:30～11:30 第2会場

座長：若月 優(自治医科大学 放射線科)

一般演題②. その他 14:40～15:20 第2会場

座長：村上 直也(国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

一般演題③. 物理 16:40～17:30 第2会場

座長：武中 正(京都府立医科大学 放射線診断治療学講座)

5月22日(土)

一般演題④. 前立腺 9:40～10:40 第2会場

座長：吉岡 靖生(公益社団法人がん研究会有明病院 放射線治療部)

一般演題⑤. 婦人科腫瘍2 14:40～15:20 第2会場

座長：金本 彩恵(新潟県立がんセンター新潟病院)

一般演題⑥. 婦人科腫瘍3 15:20～16:00 第2会場

座長：戸板 孝文(沖縄県立中部病院 放射線治療センター)

◆共催セミナー

共催セミナー1 5月21日(金) 11:45～12:45 第1会場

SS1-1. 当院におけるSagiNovaによるIGBTの導入

座長：渥美 和重(JCHO九州病院 放射線科)

演者：前林 俊也(日本大学医学部附属板橋病院 放射線治療科)

SS1-2. SagiNovaの導入から運用まで～MultiSourceからの更新～

座長：小島 徹(埼玉県立がんセンター 放射線治療科)

演者：大江 歩(自治医科大学附属病院 放射線治療部)

共催：ユーロメディック株式会

共催セミナー2 5月21日(金) 15:40～16:30 第1会場

座長：大西 洋(山梨大学 放射線医学講座)

SS2-1. 子宮頸癌に対するIMRTおよびinverse planningを用いたIGBTの初期経験

演者：小西 浩司(大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科)

SS2-2. 前立腺癌の放射線治療：衰退と持続

演者：萬 篤憲(国立病院機構東京医療センター 放射線治療科)

共催：株式会社日立製作所

共催セミナー3 5月21日(金) 15:40～16:30 第2会場(※Live配信のみ)

SS3. 前立腺癌密封小線源治療 わざの伝承を考える

座長：伊藤 文隆(藤田医科大学 放射線腫瘍科)

SS3-1. 泌尿器科医の立場から

演者：飯沼 光司(岐阜大学 泌尿器科)

SS3-2. 放射線治療医の立場から

河野 直明(滋賀医科大学 放射線医学講座)

共催：日本メジフィジックス株式会社

共催セミナー4 5月22日(土) 8:30～9:30 第1会場

SS4 中間リスク群におけるヨウ素125密封小線源療法

～外照射併用の意義と前立腺全摘との比較～

座長：石山 博條(北里大学 放射線治療科)

演者：津村 秀康(北里大学 泌尿器科)

共催：株式会社メディコン

共催セミナー5 5月22日(土) 11:30～12:30 第1会場

SS5. Veneziaアプリケーション「虎の巻」～これさえやれば“誰でも”刺せる～

座長：宇野 隆(千葉大学医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学)

SS5-1. 演者：高川 佳明(東京都立多摩総合医療センター 診療放射線科)

SS5-2. 演者：土屋 昂暉(東京都立多摩総合医療センター 診療放射線科)

共催：株式会社千代田テクノル／エレクトラ株式会社

◆機器展示

会 期	Web (Live) 開催	2021年5月21日(金)～22日(土)
	オンデマンド配信	2021年6月1日(火)9:00～30日(水)17:00

◆幹事会

2021年5月21日(金)9:00～9:50 ZOOM

学会参加者へ

【参加手続きについて】

- ・Web (Live)開催・オンデマンド配信となりましたため、参加者はオンラインクレジット決済にて参加登録をお願いします。
- ・本会ホームページ(<https://www.2021jgb.jp/index.html>)上にて事前参加登録ページより受付を開始いたします。
- ・参加費
医師・医師以外・非会員(一律) 6,000円
※オンラインクレジットカードでのお支払いをお願いいたします。
※学生の方も同じ金額となります。
- ・参加登録期間：2021年4月20日(火)10:00～5月22日(土)正午12時まで

・参加登録・取り消し・返金について

※決済完了後のお取消し及びご返金は理由の如何に関わらずお受けいたしかねます。

また、二重支払いの場合でも払い戻しは出来ませんのでご注意ください。

※参加登録者には、随時メールにてWeb (Live)学会にログインするために必要なIDとパスワードをお送りします。

参加登録時にお知らせした数字4桁のIDは視聴用ではありません。

視聴用ID・パスワードの発行は、お申し込み状況により一両日お時間を頂戴する場合がございます。

参加登録後、即時発行ではございませんのでお早目のご登録をお願いいたします。

※名誉会員、依頼演題非会員の先生方は、事前参加登録の必要はございません。

Web開催の各種コンテンツをご視聴いただくためのIDとパスワードを別途送付いたします。

※**発表者は、事前参加登録が必須**となります。

・領収書、参加証明証

会期終了後にご登録いただいたアドレスにメールにてお送りいたします。

・撮影・録音

講演データの撮影、ダウンロード、録音は固くお断りいたします。

【専門医等関連単位取得について】

- ・日本放射線腫瘍学会認定参加単位(B申請) 1単位
- ・日本医学放射線学会認定参加単位(A申請) 3単位
- ・日本専門医機構認定参加単位 2単位
- ・日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定単位(B-6) 2単位(発表単位も通常開催と同様)
- ・医学物理士認定機構認定参加単位(I) 3単位

※専門医等関連単位に関する注意事項

1. 一般参加証明書は本学術大会への参加を証明いたしますが、日本医学放射線学会認定参加単位、日本放射線腫瘍学会認定参加単位、日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定単位、医学物理士認定機構認定参加単位の申請には使用出来ません。
2. 日本医学放射線学会認定参加単位、日本放射線腫瘍学会認定参加単位、日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定単位、医学物理士認定機構認定参加単位をご希望される方は、LIVE配信期間中(2021年5月21日(金)、22日(土))にLive開催特設サイト上で必ず1セッション以上の視聴履歴が必要です。

※オンデマンド配信での視聴では単位申請は出来ません。

※学会プログラム(特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ)のいずれかを必ず通しでご視聴ください。

3. セッションの途中で視聴開始または終了した場合、参加単位申請に必要な視聴履歴としては認められません。Web (Live)開催期間終了後、本学術大会にて視聴履歴を確認し、視聴条件を満たしている場合、運営事務局より「参加単位申請用参加証明書」をお送りいたします。

座長・演者の皆様へ

- ・学術集会はZoomウェビナーを使用してWeb (Live)配信を実施し、Liveを録画した動画をオンデマンド配信いたします。
- ・先生方にはご自宅や勤務先からご参加いただきますが、通信環境が整った場所からご参加ください。
- ・事前にZoomのダウンロード、マイクとスピーカーのテストをお願いします。
※ヘッドセットの使用を推奨しております。
- ・Web (Live)当日はセッション開始1時間前に接続確認・動作確認いたします。
その際、ご発表・討論・進行等につきまして専任オペレーターよりご案内させていただきます。
- ・各セッションのURLは1週間前を目途にメールにてご案内いたします。

【座長の先生方へ】

- ・カウントダウンタイマー表示がございませんので、お手持ちの時計で進行管理をお願いいたします。

【演題発表者の皆様へ】

- ・進行情報

セッション発表と質疑	総合討論
特別講演(60分) 60分×1名	なし
教育講演(60分) 25分+質疑5分×2名	なし
シンポジウム1 (90分) 20分×4名	10分
シンポジウム2 (80分) 基調講演10分、20分×3名	10分
シンポジウム3 (90分) 20分×4名	10分
シンポジウム4 (90分) 20分×4名	10分
ワークショップ(50分) 20分×2名	10分
一般演題 発表7分+質疑3分(質疑はLiveのみ実施いたします)	

- ★一般演題の演者の皆様には、事前にご発表データのご提出をお願いいたします。

ご登録期間：4月26日(月)～5月14日(金)

- ・音声付きPower Pointをご作成いただき、MP4形式に変換の上ご登録ください。
7分以内でご作成ください。
8MB以内でご作成ください。
*16：9での作成を推奨しております。
*アニメーションのご使用はできません。

- ・利益相反の開示

JASTROのホームページをご覧ください。

<https://www.jastro.or.jp/medicalpersonnel/aboutus/cat5/post-55.html>

- ・ご発表/データ作成について

- 1) PCプレゼンテーション(1面)のみとします。
- 2) Zoom、口演データで使用するアプリケーション以外はOFFにして頂き、演者自身の操作で口演データを画面共有にしてお進め下さい。

- 3) 発表時間の厳守をお願い致します。
- 4) オンデマンド配信用に録画したデータは、会期終了後に責任をもって消去させていただきます。

【データ作成について】

- 1) 発表データは、Windows PowerPoint 2007～2016のバージョン、Keynoteで作成してください。
- 2) スライドサイズは問いませんが、16：9を推奨しております。
- 3) PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
- 4) 作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行ってください。
- 5) フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記フォントを推奨いたします。
MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
なるべく大きな文字で見やすいフォントをご使用下さい。
- 6) アニメーション、動画・音声なども使用可能ですが、多用しますと動作に不具合が出る場合がございます。
動画・音声がある場合は接続確認時にオペレーターまでお申し出ください。
- 7) スライドの最後に「ご質問はこちらまで」とオンデマンド配信時に質問可能なご連絡先の明記をお願い致します。

MEMO

スケジュール

5月21日(金)

	第1会場	第2会場
8:00		
8:30		
9:00	9:00~9:50 幹事会	
9:30		
10:00	10:00~10:05 開会式	
10:30	10:05~11:35 シンポジウム1 小線源治療技術の進化、深化、新価 座長：小島 徹、川村 慎二 演者：飯島 康太郎、黒岡 将彦、 根本 幹央、加茂前 健	10:30~11:30 一般演題①：婦人科腫瘍1 6演題 座長：若月 優
11:00		
11:30		
12:00	11:45~12:45 共催セミナー1 当院におけるSagiNovaによるIGBTの導入 座長：渥美 和重 演者：前林 俊也 SagiNovaの導入から運用まで ~MultiSourceからの更新 座長：小島 徹 演者：大江 歩 共催：ユーロメディテック株式会社	
12:30		
13:00		
13:30		
14:00	13:40~14:40 特別講演 小線源治療こそ最大の高精度治療である 座長：野本 由人 演者：伊丹 純	
14:30		
15:00	14:40~15:30 ワークショップ 小線源治療の海外事情 ~海外ってどんな感じ？次世代へのエール~ 座長：萬 篤憲 演者：久能木 裕明、増井 浩二	14:40~15:20 一般演題②：その他 4演題 座長：村上 直也
15:30		
16:00	15:40~16:30 共催セミナー2 座長：大西 洋 子宮頸癌に対するIMRTおよびinverse planning を用いたIGBTの初期経験 演者：小西 浩司 前立腺癌の放射線治療：衰退と持続 演者：萬 篤憲 共催：株式会社日立製作所	15:40~16:30 共催セミナー3 (※Live配信のみ) 前立腺癌密封小線源治療 わざの伝承を考える 座長：伊藤 文隆 演者：飯沼 光司、河野 直明 共催：日本メジフィジックス株式会社
16:30		
17:00	16:40~18:00 シンポジウム2 わざの伝承 座長・基調講演：西村 哲夫 演者：吉村 亮一、秋山 広徳、野本 由人	16:40~17:30 一般演題③：物理 5演題 座長：武中 正
17:30		
18:00		

5月22日(土)

	第1会場	第2会場
8:00		
8:30		
9:00	8:30~9:30 共催セミナー4 中間リスク群におけるヨウ素125密封小線源療法 ～外照射併用の意義と前立腺全摘との比較～ 座長：石山 博條 演者：津村 秀康 共催：株式会社メディコン	
9:30		
10:00	9:40~11:20 シンポジウム3 子宮頸がん組織内照射併用腔内照射 (ハイブリッド) への教えと学び	9:40~10:40 一般演題④：前立腺 6演題 座長：吉岡 靖生
10:30	座長：伊井 憲子、加藤 真吾 演者：野田 真永、三浦 幸子、 村田 和俊、渡辺 未歩	
11:00		
11:30	11:30~12:30 共催セミナー5 Veneziaアプリケーション「虎の巻」 ～これさえやれば“誰でも”刺せる～ 座長：宇野 隆 演者：高川 佳明、土屋 昴暉 共催：株式会社千代田テクノル/エレクトラ株式会社	
12:00		
12:30		
13:00		
13:30	13:30~14:30 教育講演 鎮静・鎮痛	
14:00	座長：生島 仁史 演者：田口 奈津子、辻野 佳世子	
14:30		
15:00	14:40~16:10 シンポジウム4 前立腺癌の小線源治療 ～深めること、広げること～	14:40~15:20 一般演題⑤：婦人科腫瘍2 4演題 座長：金本 彩恵
15:30	座長：増井 浩二、吉田 謙 演者：稲葉 浩二、田中 宣道、 平田 岳郎、辻村 晃	15:20~16:00 一般演題⑥：婦人科腫瘍3 4演題 座長：戸板 孝文
16:00	16:10~16:20 閉会式	
16:30		
17:00		
17:30		
18:00		

プログラム

5月21日(金) 第1会場

10:00 ~ 10:05 開会式

当番世話人 野本 由人 (三重大学大学院医学系研究科 先進がん治療学講座 教授)

10:05 ~ 11:35 シンポジウム1:小線源治療技術の進化、深化、新価

座長 小島 徹 (埼玉県立がんセンター 放射線治療科)

川村 慎二 (帝京大学大学院保健学研究科 診療放射線科学専攻)

SY1-1 気管支内小線源治療用新型アプリケータの開発

飯島康太郎 (国立がん研究センター中央病院 放射線品質管理室)

SY1-2 IGBTを支える機器・技術の多様性と性質

黒岡 将彦 (東京医科大学病院 放射線治療品質管理室)

SY1-3 60Co線源の線源強度計測とトレーサビリティ確立への検討

根本 幹央 (自治医科大学附属病院 放射線治療部)

SY1-4 ヨウ素125シード線源の線源強度計測

加茂前 健 (名古屋大学医学部附属病院 放射線科)

11:45 ~ 12:45 共催セミナー 1

座長 渥美 和重 (JCHO九州病院 放射線科)

小島 徹 (埼玉県立がんセンター 放射線治療)

SS1 当院におけるSagiNovaによるIGBTの導入

前林 俊也 (日本大学医学部附属板橋病院 放射線治療科)

SS2 SagiNovaの導入から運用まで ~MultiSourceからの更新~

大江 歩 (自治医科大学附属病院 放射線治療部)

共催:ユーロメディテック株式会社

13:40 ~ 14:40 特別講演

座長 野本 由人 (三重大学大学院医学系研究科 先進がん治療学講座)

SL 小線源治療こそ最大の高精度治療である

伊丹 純 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科/
新松戸中央総合病院 放射線治療センター)

14:40 ~ 15:30 ワークショップ:小線源治療の海外事情 ~海外ってどんな感じ?次世代へのエール~

座長 萬 篤憲 (国立病院機構東京医療センター 放射線科)

WS-1 米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校に留学して ~日本のBrachyはアメリカに勝てるのか?~
久能木裕明 (順天堂大学 放射線治療学講座)

WS-2 留学体験記 ちょっと隣の芝生覗いてみました

増井 浩二 (市立福知山市民病院)

15:40 ~ 16:30 共催セミナー 2

座長 大西 洋 (山梨大学 放射線医学講座)

SS2-1 子宮頸癌に対するIMRTおよびinverse planningを用いたIGBTの初期経験

小西 浩司 (大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科)

SS2-2 前立腺癌の放射線治療: 衰退と持続

萬 篤憲 (国立病院機構東京医療センター 放射線治療科)

共催: 株式会社日立製作所

16:40 ~ 18:00 シンポジウム2: わざの伝承

座長 西村 哲夫 (静岡県立静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター)

基調講演 小線源治療わざの伝承の条件; 塚本憲甫による喉頭癌のラジウム線源埋没療法を例にして

西村 哲夫 (静岡県立静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター)

SY2-1 頭頸部癌の低線量率小線源治療

吉村 亮一 (東京医科歯科大学 腫瘍放射線治療学分野)

SY2-2 頭頸部癌の高線量率小線源治療

秋山 広徳 (大阪歯科大学 歯科放射線学講座)

SY2-3 気管支腔内照射の適応と技術の伝承

野本 由人 (三重大学病院 放射線科)

5月21日(金) 第2会場

10:30 ~ 11:30 一般演題①: 婦人科腫瘍1

座長 若月 優 (自治医科大学 放射線科)

1-1 CT別室条件における3D-MRIガイド下IGBTの初期経験

吉田 賢史 (鳥取大学病院 放射線治療科)

1-2 子宮頸癌に対する外来での腔内/組織内照射併用小線源治療の作業負荷と安全性

阿部 孝憲 (埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)

1-3 Venezia applicatorによる子宮頸がん小線源治療の初期経験

久保亜貴子 (徳島大学病院 放射線治療科)

1-4 子宮頸癌3B期に対する化学放射線療法後に仮性動脈瘤破綻による出血性ショックを来した一例

兼安 祐子 (国立病院機構福山医療センター 放射線治療科)

1-5 外部照射50 Gyに反応不良な子宮頸癌T3bの原発に対してハイブリッド(腔内+組織内)照射を4回(6, 6, 6, 5 Gy)行い、その後発熱が遷延した1例

森本 将裕 (大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科)

1-6 婦人科腫瘍に対する組織内照射併用腔内照射における予防的抗生剤使用の必要性の検討

熊澤 琢也 (JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 放射線治療科
／群馬大学大学院医学系研究科 腫瘍放射線学)

14:40～15:20 一般演題②：その他

座長 村上 直也 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

1-7 頭皮血管肉腫に対する根治的なBrachytherapyの有用性について

糸永 知広 (東京医科大学 放射線医学分野／神奈川県立がんセンター 放射線治療科)

1-8 乳癌術後胸壁再発に対する救済小線源治療でsandwich techniqueを使用した一例

島 聖 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

1-9 気管・気管支腔内照射の長期治療成績

原田 英幸 (静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター)

1-10 食道癌腹部傍大動脈リンパ節転移に対する小線源治療をIVR医師と協同で行った一例

大熊 加恵 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

15:40～16:30 共催セミナー 3 (※Live配信のみ)

前立腺癌密封小線源治療 わざの伝承を考える

座長 伊藤 文隆 (藤田医科大学 放射線腫瘍科)

SS3-1 泌尿器科医の立場から

飯沼 光司 (岐阜大学 泌尿器科)

SS3-2 放射線治療医の立場から

河野 直明 (滋賀医科大学 放射線医学講座)

共催：日本メジフィジックス株式会社

16:40～17:30 一般演題③：物理

座長 武中 正 (京都府立医科大学 放射線診断治療学講座)

1-11 婦人科小線源治療システム更新および治療計画方法変更で経験した治療プロセスマップの利用について

坂本 昌隆 (浜松医科大学医学部附属病院 放射線部／
浜松医科大学大学院医学系研究科 光医工学共同専攻)

1-12 婦人科HDR小線源治療におけるExcelを用いた患者線量管理ツールの開発と初期運用報告

千葉 貴仁 (国立がん研究センター中央病院 放射線品質管理室／
東京都立大学大学院 人間健康科学研究科)

1-13 ハイスピードカメラを用いた線源駆動情報からのTransit doseの評価

岡本 裕之 (国立がん研究センター中央病院 放射線品質管理室)

1-14 ウェル型電離箱式線量計PTW社製SOURCECHECK 4 Piの特性評価

小島 徹 (埼玉県立がんセンター)

1-15 患者横断面における線量分布の調整を可能とする新たな腔内照射小線源治療用アプリケーションの開発

宮坂友侑也 (山形大学大学院医学系研究科 重粒子線医学講座)

5月22日(土) 第1会場

8:30～9:30 共催セミナー 4

座長 石山 博條 (北里大学 放射線治療科)

SS4 中間リスク群におけるヨウ素125密封小線源療法～外照射併用の意義と前立腺全摘との比較～

津村 秀康 (北里大学 泌尿器科)

共催：株式会社メディコン

9:40～11:20 シンポジウム3：子宮頸がん組織内照射併用腔内照射(ハイブリッド)への教えと学び

座長 伊井 憲子 (伊勢赤十字病院 放射線治療科)

加藤 真吾 (埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)

SY3-1 ハイブリッド治療が広まらない理由

野田 真永 (埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)

SY3-2 ハイブリッド導入までの道のりとその後の課題<学びの立場から>

三浦 幸子 (奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座)

SY3-3 ヨーロッパにおける画像誘導小線源治療の現状と教育システムについて

村田 和俊 (群馬大学大学院腫瘍放射線学/国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST 病院)

SY3-4 Advanced Gynecological Applicator Venezia™の使用経験

渡辺 未歩 (千葉大学医学部附属病院 放射線科)

11:30～12:30 共催セミナー 5

Veneziaアプリケーター「虎の巻」～これさえやれば「誰でも」刺せる～

座長 宇野 隆 (千葉大学医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学)

SS5-1 高川 佳明 (東京都立多摩総合医療センター 診療放射線科)

SS5-2 土屋 昂暉 (東京都立多摩総合医療センター 診療放射線科)

共催：株式会社千代田テクノル/エレクトラ株式会社

13:30-14:30 教育講演：鎮静・鎮痛

座長 生島 仁史 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 放射線治療学分野)

IL-1 「苦痛のない治療」を提供するための基礎知識

田口奈津子 (千葉大学大学院医学研究院 麻酔科学)

IL-2 婦人科癌小線源治療における鎮静鎮痛

辻野佳世子 (兵庫県立がんセンター 放射線治療科)

14:40 ~ 16:10 シンポジウム4：前立腺癌の小線源治療 ～深めること、広げること～

座長 **増井 浩二** (京都第二赤十字病院 放射線治療科)
吉田 謙 (関西医科大学総合医療センター)

- SY4-1 前立腺がんHDR当院での取り組み 臨床試験と人材育成
稲葉 浩二 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)
- SY4-2 前立腺癌小線源治療 ー奈良医大におけるこれまでの取り組みと今後の展望ー
田中 宣道 (奈良県立医科大学 前立腺小線源治療講座)
- SY4-3 PSMA-PETの最新動向と小線源治療における活用への期待
平田 岳郎 (大阪大学 放射線科)
- SY4-4 ED診療の現状と治療法 ー前立腺癌に対する放射線治療後のEDを中心にー
辻村 晃 (順天堂大学医学部附属浦安病院 泌尿器科)

16:10 ~ 16:20 閉会式

当番世話人 **野本 由人** (三重大学大学院医学系研究科 先進がん治療学講座 教授)

5月22日(土) 第2会場

9:40 ~ 10:40 一般演題④：前立腺

座長 **吉岡 靖生** (公益財団法人がん研究会有明病院 放射線治療部)

- 2-1 unfavorable中リスク前立腺癌に対するI-125小線源療法
田中 智樹 (慶應義塾大学医学部 放射線科学)
- 2-2 Focal LDR prostate brachytherapy for low- and intermediate-risk prostate cancer
久能木裕明 (順天堂大学 放射線治療学講座)
- 2-3 前立腺癌シード治療後の勃起不全と前立腺被膜外線量の関係
菊池 光洋 (岩手医科大学 放射線腫瘍学科)
- 2-4 前立腺がんbrachytherapy10年後に発症した肛門管扁平上皮癌の1例
馬場 祐之 (熊本赤十字病院 放射線治療科)
- 2-5 前立腺がん永久刺入治療用I-125シードに対するバッチアッセイに向けた基礎検討
末澤正太郎 (名古屋大学医学部附属病院 医療技術部)
- 2-6 スズアンチモン容器に入った前立腺シード線源がX線撮影で1個確認できなかった事例
小原 秀樹 (弘前大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門)

14:40 ~ 15:20 一般演題⑤：婦人科腫瘍2

座長 金本 彩恵 (新潟県立がんセンター新潟病院)

- 2-7 腔シリンダーを用いた婦人科小線源治療における直腸出血とDVHパラメーターの検討
南平 結衣 (三重大学医学部附属病院 放射線科)
- 2-8 子宮頸癌腔内照射における直腸線量低減の手法の違いによる線量比較
澤田 将史 (慶應義塾大学医学部 放射線科学(治療))
- 2-9 子宮体癌に対してRotte式アプリケーターとTandemを組み合わせた3チャンネル腔内照射を施行し線量分布の著明な改善が得られた一例
高川 佳明 (東京都立多摩総合医療センター 診療放射線科)
- 2-10 外尿道口転移を伴う子宮頸癌に対して根治的化学放射線療法とLumencathアプリケーターを用いた尿道腔内照射を施行しCRが得られた一例
高川 佳明 (東京都立多摩総合医療センター 診療放射線科)

15:20 ~ 16:00 一般演題⑥：婦人科腫瘍3

座長 戸板 孝文 (沖縄県立中部病院 放射線治療センター)

- 2-11 子宮頸癌に対するHybrid腔内照射の治療成績
小此木範之 (QST 病院)
- 2-12 子宮頸癌に対する腔内照射 (IC) と腔内+組織内照射 (IC/IS) の治療成績
青鹿 友美 (埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)
- 2-13 画像誘導小線源治療を用いた子宮頸癌根治照射の治療成績
上菌 玄 (兵庫県立がんセンター 放射線治療科)
- 2-14 子宮頸癌に対する腔内照射と組織内照射併用腔内照射の遡及的比較研究
村上 直也 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

協賛企業

日本放射線腫瘍学会小線源治療部会第23回学術大会は、以下の多くの企業より多大なるご協力をいただきました。
ここに謹んで感謝申し上げます。

アキュレイ株式会社

エレクタ株式会社

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

シーメンスヘルスケア株式会社

セティ株式会社

株式会社千代田テクノル

日本メジフィジックス株式会社

株式会社バリアン メディカル システムズ

株式会社日立製作所

ブレインラボ株式会社

メディカルエキスパート株式会社

株式会社メディコン

ユーロメディテック株式会社

(50音順)

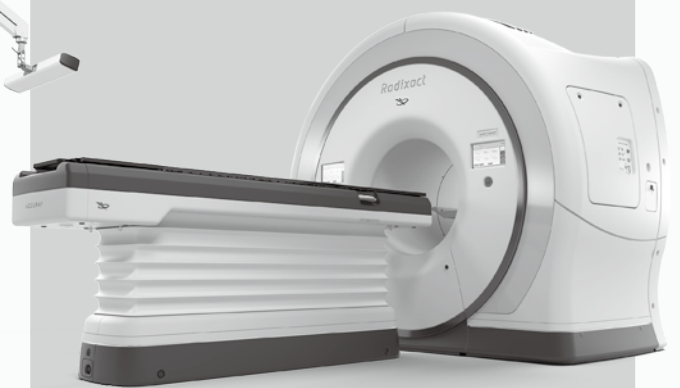
Deliver more. Better. Faster.

アキュレイの放射線治療機器は優れた信頼性・サービス・実績と共に臨床的に裏付けられたがん治療を提供します。



CyberKnife® S7™ サイバーナイフ S7 シリーズ

サブミリメートルの照射精度でターゲットに高線量を集中
短い治療期間、多様な治療選択肢を提供



Radixact® ラディザクトシリーズ

スルーブット向上を可能にしたトモセラピーの最新機種
サイバーナイフで実証済の動体追尾機能をオプション選択可能

医療機器承認番号:22900BZX00032000 販売名:ラディザクト
医療機器承認番号:22900BZX00031000 販売名:Accuray Precision治療計画システム
医療機器承認番号:22600BZX00126000 販売名:サイバーナイフM6シリーズ

製造販売元・お問い合わせ先

アキュレイ株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7階
TEL: 03-6265-1526 / FAX: 03-3272-6166 / www accuray.co.jp

© 2020 Accuray Incorporated. All Rights Reserved.

AJMKT-DMBF(2012)-JPN(1)

ACCURAY

Canon

Expand your view

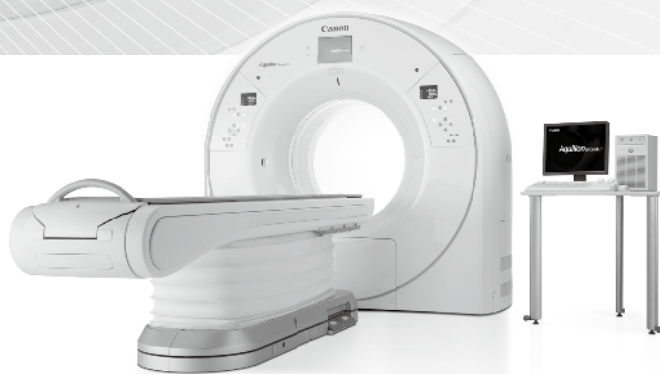
900^{mm}
Large Bore

80^{row}
160^{slice}

Large Bore × AI Technology

ケイパビリティの高さと、
高画質で低被ばくな検査を実現させる、
新たなソリューションの可能性。

- 患者さん・臨床科を選ばずマルチユースに活躍する、
80列&900mm大開口径
- さらに低被ばく・高画質な検査を可能にする、
AI技術をはじめとした最新テクノロジー



【販売名】CTスキャナ Aquilion Exceed LB TSX-202A
【認証番号】302ACBZX00024000

Aquilion Exceed LB

オープンボアX線CT装置

SOMATOM go.Open Pro

The future is in motion

www.siemens-healthineers.com/jp



SOMATOM go.Open Proは、放射線治療に関わる多くのユーザーの方々の研究や経験を基に、先進的なアドバイスを取り入れ開発されました。

最新のテクノロジーは撮影性能だけでなく、850mmのオープンボアやアーチファクトを最小限にする技術など、Patient First（患者第一）を実践するための医療技術者を支援するフレキシブルな操作環境も提供します。

SIEMENS
Healthineers

VISICOIL™

LINEAR FIDUCIAL MARKER

TwinLine
PROVEN MARKER TWO IN ONE

new!

2 VISICOIL™ Markers with 1 Needle!



See it. Trust it. Treat it.

VISICOIL™ is a flexible linear fiducial marker for use with today's most accurate image-guided radiotherapy treatment plans.

VISICOIL TwinLine

Spacer Length: 15mm & 20mm

Coil Diameter: 0.50mm, 0.75mm, 1.10mm

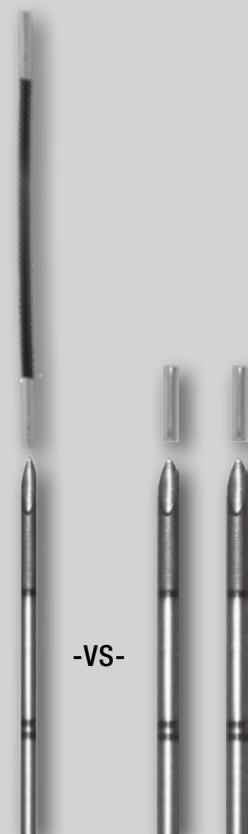


VISICOIL

Absorbable
Spacer

VISICOIL

- 1本のニードルに2個のマーカーがセットアップ済
- 1回の刺入で2個のマーカーが留置可能
- 適切なマーカー間の距離で留置
- より速く、安全に



-VS-

SCETI

www.sceti.co.jp

製造販売元

セティ株式会社

東京都千代田区霞が関3-6-7

TEL:03-5510-2653

FAX:03-5510-0133

製造メーカー/アメリカ: RadioMed社

販売名: VISICOILマーカプレロード

製造販売承認番号: 22300BZX00123000

NAVIGATION. UPDATED.

WITH BRAINLAB SPINAL NAVIGATION AND AIRO.

UNEXPECTED SETUP VERSATILITY
UNINTERRUPTED IMAGE REGISTRATION
UNOBSTRUCTED SPINAL VIEWS



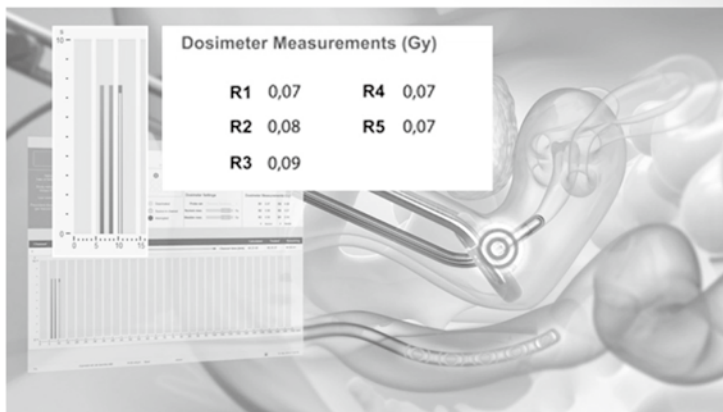
ブレインラボ株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-2-16
田町イーストビル 2F
TEL 03-3769-6900
FAX 03-3769-6901
jp_igs@brainlab.com

販売名: AIRO CT スキャナ
(医療機器認証番号: 228AABZK00017000)

SagiNova[®] Remote After Loading System

特長 Features

- 安全性や治療精度向上に特化した50chアフターローディング装置
- ^{60}Co / ^{192}Ir から使用線源を選択
- インビボ直腸線量計を標準装備し治療中の安全性に配慮
- QAステップなどをプロトコル化してレポート作成



販売名：HDRアフターローディングシステム SagiNova
医療機器製造販売承認番号：22800BZX00301000

製造販売業者：

Euro Meditech

ユーロメディテック株式会社
<http://www.euro-meditec.co.jp/>

<本社>

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-20-4 NMF高輪ビル8F
TEL：03-5449-7585 FAX：03-5449-0234

<大阪支店>

〒530-0047 大阪市北区西天満5-1-1 ザ・セヤマビル6F
TEL：06-6131-2180 FAX：06-6131-2181

BRAVOSが広げる 小線源治療の可能性

私たちは、小線源治療に携わる
臨床スタッフの皆さまの意見を取り入れ、
直感的な操作設計のBRAVOS™
アフターローダシステムを開発しました。

BRAVOSは、
効率的なワークフロー、統合化されたシステム、
そして操作性を重視したデザインにより、
小線源治療の可能性を広げます。

BRAVOSの詳細な情報は varian.com/ja/bravos まで

varian | BRAVOS™



**It's a brave new world
in brachytherapy**

放射線治療は治療部位によって副作用を伴う場合があります。すべてのがんに適切な治療とは限りません。また、アプリケータの留置や埋め込みによる副作用が現れることがあります。主な副作用には、局所的な不快感、出血、感染症、アプリケータが留置された位置に由来するその他の局所的な副作用があります。

BRAVOS アフターローダシステム: 医療機器承認番号 30200BZX00305000

© 2018-2021 Varian Medical Systems, Inc. Varian は登録商標であり、BRAVOS は Varian Medical Systems, Inc.の商標です。

アドバンスト ガイネコロジカル アプリケーター
Advanced Gynecological Applicator

Venezia™

RALS治療における次世代型アプリケーター

『IGBT』、更には『組織内照射併用腔内照射』に標準対応



《オボイドからのparallel/oblique方向ニードル挿入》

- 子宮傍組織まで到達
- 毎回の照射時に、同じ角度・深さに挿入が可能

Flexitron®

